

釧路湿原川レンジャー News 2010 Vol.2

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました



釧路湿原は今年で
ラムサール条約登録
30周年を迎えました!!

平成22年6月29日(火)に、22名が参加して今年度最初の「第1回釧路湿原川レンジャー学習会」を開催、植樹・ポット苗づくりと、意見交換会を行いました。

「花咲かじいさんプロジェクト」に参加

釧路開発建設部が釧路町立遠矢小学校と協働で実施している※1「花咲かじいさんプロジェクト」に今年も参加して、過去に植樹した樹木の生育状況の観察や、植樹作業・ポット苗づくりを行いました。

※1「花咲かじいさんプロジェクト」の説明は、配布したパンフレット「花咲かじいさんプロジェクト」に掲載されていますので参考にしてください。

●樹木の生育観察

平成5年から進めているプロジェクトや樹木の生育について説明を受けました。植樹を行った年度によって生育ムラや、エゾシカの食害により枯れた樹木が観察で見つかりましたが、順調に生育している樹木も確認されました。

●植樹作業

作業は、釧路川流域や釧路湿原の自然林から採取して種から育てたケヤマハンノキ・オニグルミ・ヤチダモ・ハルニレなどに、今年は、川レンジャーの横山さんが1年間大事に育てたオニグルミの苗15本を加え、30種類、約130本の苗木を1サークル毎に11本の植樹をしました。



樹木の生育状況を観察



植樹の説明を聞く参加者



協働で植樹作業



夫婦で植樹作業(横山さん)オニグルミのポット苗



横山さんが育てた



1-2サークルに約130本を植樹

●ポット苗づくり

作業は、種から育てたアオダモ・ヤチダモ・エゾヤマザクラや横山さんが育てたハルニレなど、2~4年経過した苗床から、小さな苗を3~5本をポットに移植し、約200個のポット苗をつくりました。



横山さんが育てたハルニレのポット苗



苗床から3~5本の小さな苗をポットに移植



花咲かじいさんプロジェクトに参加した川レンジャー

「野生のミンク」の調査報告

意見交換会に先立ち、昨年度、釧路国際ウェットランドセンターで実施された野生のミンクの生育状況調査について、同センターの神谷専門員から調査協力のお礼と結果の報告がありました。

それによると、釧路地域で472件、238地点の目撃情報が寄せられ、釧路湿原、別寒辺牛湿原の河川沿いや、阿寒湖の岸边にはほぼ全域にミンクが住みつき、更に、湿原に近い住宅街でも目撃されているとの報告でした。

ミンクは、ザリガニや魚(シロザケやアメマス・ワカサギなど養殖魚も含む)、鳥(カモ類やアオサギ・ニワトリ)など、この地域に生息する様々な生き物と深く関わっていることが解りました。

今後は、今以上の勢力拡大の兆しを見逃さないよう、多くの人々がミンクをはじめ外来種の問題に関心を払っていくことが必要であるとの報告がありました。

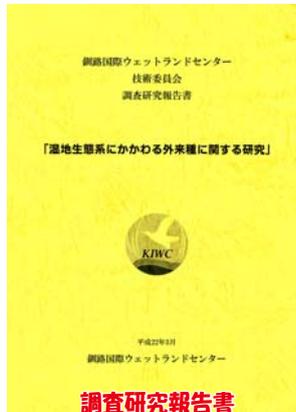


釧路国際ウェットランドセンターの神谷事務局長から調査報告

※ 下記の資料についてご希望の方は、「釧路国際ウェットランドセンター」にお問い合わせください。(釧路市役所市民環境部環境保全課内 電話：0154-31-4594)



リーフレット 釧路地域の外来種「ミンクのはなし」



調査研究報告書 「湿地生態系にかかわる外来種に関する研究」



釧路湿原周辺でのミンクの目撃情報 出典：「ミンクのはなし」釧路国際ウェットランドセンター

意見交換会

釧路湿原川レンジャーのみなさんと意見交換会を塘路湖エコミュージアムセンターで行い、日頃感じていた事をお聞きし、観察活動への協力をお願いしました。

【主な意見】

- 湿原大橋の下流右岸側で、4輪駆動車のわだちを何度か確認、その都度報告している。
- 釧路の子ども達は釧路湿原のことを以外と知らないのではないか。
- 釧路湿原や環境問題などの啓蒙活動が必要ではないか。
- 湿原道路の遠矢付近では、ゴミの不法投棄があった。
- 自分で撮影したミンクや野鳥の写真を使い、身近な河川の環境について報告がありました。



仁々志別川のミンク



写真を使って観察報告する紀国さん



塘路湖エコミュージアムセンターでの意見交換会